

# 会 議 録

## 第 1 3 回定例会

開会 平成 2 8 年 1 0 月 3 1 日

## 教育委員会会議録

- 1 開 会 平成28年10月31日 午後4時
- 2 閉 会 平成28年10月31日 午後4時40分
- 3 出席委員 教育長 美馬 持仁  
委 員 松重 和美  
委 員 三牧 千鶴子  
委 員 辻 貴博  
委 員 藤本 宗子
- 4 出席者 副 教 育 長 木下 慎次  
教 育 次 長 森本 俊明  
教 育 次 長 栗洲 敬司  
教 育 創 生 課 長 藤井 博  
生 涯 学 習 課 長 阿部 淳子  
文化の森振興本部企画振興部長 乾 敏子  
教 育 政 策 課 長 東條 正芳  
教 育 政 策 課 副 課 長 木野内 敦

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

副教育長 9月定例県議会における質疑応答の概要について報告する。

[議 事]

教育長 議案第40号及び議案第41号を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第39号 平成29年度公立高等学校生徒募集定員について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

松重委員：中学校から高等学校への進学率は何%ぐらいか。

教育創生課長：99%ぐらいである。

松重委員：中学3年生の生徒数106名減に対し、募集定員は70名減であるということ、若干、倍率を緩和したということか。

教育創生課長：昨年度と比較すると、緩和した。ただし、近年、定時制高校への進学希望が減少しているということ、また、受検見込み者数は過去の受検率を用いて算出しているが、今春の受検率がやや低かったことが、推計競争倍率に影響している。

松重委員：受検見込み者数に対する募集定員の差は、全日制公立高等学校に入学できない生徒数であるということか。

教育創生課長：そうである。

松重委員：全日制公立高等学校に入学できない生徒数の進路先は、私立学校などか。

浪人するということはあるのか。

教育創生課長：そうした生徒の進路先は、私立学校などであり、浪人することはほとんどないと思われる。

教育長：一般選抜で欠員があった場合には、第2次募集もある。

松重委員：募集定員は県全体で昨年度比70名減であるが、阿波高校以西で募集定員は70名減であり、それ以外の地域での募集定員の増減は相殺されている。

辻委員：県西部が過疎化している影響であろう。

松重委員：こうした傾向は今後も続くのか。

教育創生課長：中学2年生以下の学年毎の生徒数も把握しており、こうした傾向は続き、県全体としても減少傾向にあると思われる。

教育長：生徒数は、年により多少の増減はあるが、全体として見ると県西部と県南部は過疎化の進行が見て取れる。

藤本委員：徳島市立高校の募集定員が40名減であるということは、1クラス減ということか。

教育創生課長：そうである。徳島市・名東郡で中学3年生は100名以上減少している。高校の教職員定数は生徒数40名を基準としていることから、徳島市立高校の募集定員減を40名とした。

教育長：今回の募集定員は平成29年度の高校1年生に相当する。募集定員を設定する場合、当該年度の高校3年生まで見渡す必要がある。特定の学校だけ、募集定員を減らすことはできない。

教育創生課長：2年前には、徳島市内で、徳島市立高校以外の普通科をもつ高校で募集定員を減らした経緯がある。

教育長：今後、徳島市内の中学3年生が増加すれば、徳島市立高校の募集定員も増加するという事は考えられる。

藤本委員：徳島市立高校の校舎が比較的新しく、施設も充実しているのではないかという思いからの発言である。

教育長 議案第39号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第39号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第40号 徳島県立牟岐少年自然の家の指定管理者の指定について》

《議案第41号 徳島県立図書館協議会委員の任命について》

[閉 会]

教育長            本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会            午後4時40分

